A型事業所だからできる 事業の作り方



reward株式会 代表取締役 荒川 誠一



2025年10月25日 就労支援セミナーin小倉

運営事業所

2つの事業所、計4拠点運営



主たる hibino-shigoto

利用者数 35名

従たる hibino-shigoto 琴似

利用者数 18名



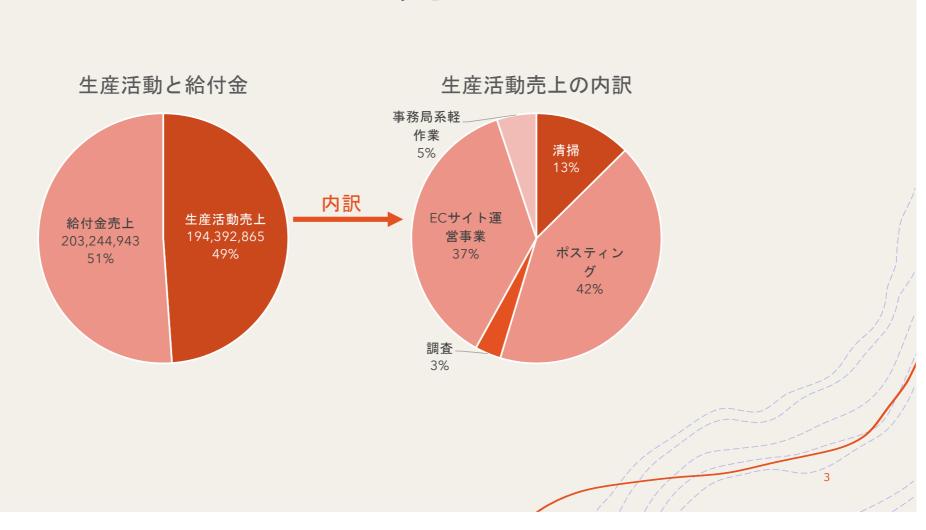
主たる hibino-kagayaki

利用者数 29名

従たる hibino-kagayaki 厚別

利用者数 17名

2024年度 売上げ



事業の進め方

- + 民泊清掃メイン
- + 年間売上1.6億円
- + 事業所開始当初から行っていた





Step 1:基本的な清掃業務の流れを知る

- + 他社を調べる
- + 視察や観察を行い真似る



Step 2:受注

- + 民泊オーナー → 管理業者 → 清掃業者 → ゲスト
- + 大手管理業者を捕まえれば大きな受注となる(1社あたり100万~500万/月)
- + 他社と違う部分でウリを作る・当日の清掃受付
 - ・ごみ処分やリネンも込みの料金体系
 - ・頼みやすい工夫

Step 3 :業務オペレーション構築&問題発生

- + 利用者向けのフローの構築、マニュアル作成
- + かなり早い段階でキャパオーバーとなる (当事業所では50~100物件程度)
- + 洗濯ものが間に合わない、ごみの処分が間に合わない、 人が足りない、車が足りない



Step 4-1: 改善

+ 業務フロー

部屋で補充していたアメニティ類を事務所でボックスを作成して現地のものと入れ替えるようにした。

各社ごとに指定されていただアメニティを当社独自のものにしてもらうことで共通化した。



+ 洗濯

事務所内に洗濯機と乾燥機を置いて対応

→ コインランドリーを購入

リネンサプライ業者さんとの取引を開始



Step 4-2: 改善

/+ ゴミ (札幌の場合)事業用プリペイドゴミ袋を使用して回収してもらっていた→ごみ圧縮機を使って容量を小さくし、経費削減を行った

+ リソース不足 日曜、祝日が多忙のため知り合いに声をかけて手伝ってもらった(有償) 事業所を増やしメンバーを増やした



事業の進め方

- + 官公庁の受託がメイン
- + 年間8千万ほどの売上
- + 5年ほど前から始めた





②ポスティング 実際に起きた問題点

- + どれだけ配布できるかわからないため受注ができない
- + 地図の精度が低く重複配布や誤配布、配布漏れが起こる
- + 数の管理ができない(配布数があわない)
- + 低単価でしか受注できない



Step1:他社を研究

- + 全国のポスティング会社のHPを調べる
- + 単価の決定、HPの作成、業務フローの作成
- + 各エリアに配布員がいて、配布員がいないエリアは単価が高い又は配ることができない





Step2:地図の精度

→ 最初はGoogleマップを印刷して使っていた

+ どこを配っているかわかりにくかったり、道路などの境界があいまいであった。また複数人で配布す

る際に重複配布なども起こっていた

+ 冊子版のゼンリン地図に変更し、 その後CD版のゼンリン地図を使用することにした



Step3:道具の工夫

- + バッグ、バインダーの統一
- + 地図の書き方の統一(持ち出し数と残数、集合住宅は数を書く)
- + 大きく重たいものはキャリーボックスを使用
- + アプリの作成

Step4:受注

- + 民間チラシは弊配することで単価をアップ
- + 官公庁の需要があることをしり、入札参加
- + 始めたころは1枚3円程度だった単価が現在は平均20円ほどになっている





- + 札幌で一番配ることのできる会社となり、同業からの依頼も増えている
- + どこでも配ることができるため、単価も高くなる
- + 高齢化などにより配布員が減ることが予想され、今後も受注は増える見込み





ありがとうございました

- + reward株式会代表取締役 荒川 誠一
- + re-ward.co.jp